

教科シラバス（工業：機械科）

科目名	製 図	履修学年	履修単位	履修形態	授業形態
		1	2	必修	一斉
使用教科書・副教材・準備物					
製図（実教出版）、ノート、製図道具					
科目の概要			学習目標		
日本産業規格に則って完全で明瞭、正確にかかれていた図面を描いていく。また、製図用語を理解し、図面を読み取る知識と技術を学習する。			製図に関する日本産業規格及び各専門分野の製図について基礎的な知識と技術を習得し、製作図、設計図などを正しく読み、図面を構想し作成する能力を身に付ける。		
年間学習プログラム					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		
1 学期	製図の基礎 ・ 数字、文字、記号 ・ 線 ・ 円弧、曲線 ・ 投影図		・ 製図に使用される製図道具の使用方法を理解させる。 ・ 製図での文字や線の書き方を習得させる。 ・ 円弧や曲線の書き方を習得させる。 ・ 投影図を理解させる。		
2 学期	・ 等角図と平面図 ・ 展開図 製図の規約 ・ 寸法記入 ・ 記号記入 製作図 ・ スケッチ		・ 図面の基礎である第三角法について理解させる。 ・ 平面図における寸法記入や指示についての表示内容を理解させる。 ・ 教科書等にある図面をフリーハンドで書かせ、実際の図面を書くための手順を把握させる。		
3 学期	・ 写図 ・ 製図		・ ドラフターを使用し、教科書等にある図面を写図し、実際の図面書くための手法を理解させる。 ・ 簡単な製図を行い、製図の基本を習得させる。		
評価の観点及び内容					
知識・技術	物体を、多角的に見つめて理解し、図面に起すための知識を身に付けているか。また、記号や用語が知識として身に付いているか。 資料からの確に数値を読みとったり、活用したりできているか。				
思考・判断 ・表現	物体を多面的・多角的に理解し、図面を正確に作成しているか。また、隠れている部分を理解し、製図できているか。				
主体的に学習に 取り組む態度	機械製図に興味・関心を持って積極的に取り組み、自ら課題を発見し解決しようとしているか。				
評価方法及びその他留意事項					
学習態度、課題、出席等を含め上記3つの観点から総合的に評価する。 なお、全ての課題を提出しなければならない。					